

シリーズ名の変更

形式の先頭にありますシリーズ名が過去の納入品と現在では違っているが、何か製品として現行のものと違いがあるのですか？

シリーズ名と設計変更について、ご説明させていただきます。当社タイロッド式油圧シリンダは、旧 JIS規格に準拠して製作しております。JISで規定されております重要な内容の一つとして、取付寸法の規定がありますのでシリーズ名が変更になっておりましても、取付寸法には変更はございません。お客様が油圧シリンダをそのままお取替えになる場合は、シリーズ名の新旧は意識されずにご依頼ください。また、旧形式でお問い合わせ頂きますとも確認は出来ませんが、当社では管理の基本を製造番号で行っておりますので、できましたら製品に添付されておりますラベルの製造番号を合わせてご連絡ください。ラベルの製品番号でお客様の過去の納入品履歴がすぐわかるようになっております。

シリーズ		圧力	内 径	バックン	備 考		
Fシリーズ	旧形式	S2	S2	7・14	φ30のみのシリーズ	現在は、特殊として対応、標準は内径32からになります。	
		S5	S5		φ32のみのシリーズ	①スイッチなしは、バックンの互換性があります。 ②スイッチ付仕様のピストンバックンは現在と互換性はありません。 バックンセットのご要望は旧形式でお願い致します。 または、ピストン・ロッドアッセンブリーでの交換をお願い致します。	現在のスイッチとは同一ではありませんが相当品有。
		S5R	S5R				
		W4			φ40～φ180		
		F4	F4		φ40～φ250		
		F4R	F4R		φ40～φ100		
		F6	F6		φ40～φ250		
		F6R	F6R		φ40～φ100		
	F7	F7	φ32～φ250	現在と互換性あり	スイッチ付仕様に内径140登場		
	F7R	F7R	φ32～φ125				
	F8	F8	φ32～φ250				
		F8R	F8R	φ32～φ140			
	現在	F	FS	7	φ32～φ250	逆圧防止用バックンに変更し性能の向上を図る。	途中クッションバルブの変更がありましたが、互換性あり。
FSR			14	φ32～φ140			
FF				φ32～φ250			
FFR				φ32～φ140			
Kシリーズ	旧形式	K7	K7	3.5	φ32～φ160	ピストンバックンの互換性はありません。	現在のスイッチとは同一ではありませんが相当品有。
		K7R	K7R		φ32～φ100		
		K8	K8		φ32～φ160		
		K8R	K8R		φ32～φ100		
		K2	K2		φ32～φ160	現在のスイッチとは同一ではありませんが相当品有。但し一部交流使用のCS2Bは、OFF時ネオンランプは点灯になりますが、現在はON時点灯のみの相当品となります。また、スイッチ変更に伴いスイッチ取付金具が変更となっておりますのでスイッチご依頼の場合は金具もお求めください。	
		K2R	K2R		φ32～φ100		
		K3	K3		φ32～φ160		
		K3R	K3R		φ32～φ125		
	現在	K	K	3.5	φ32～φ160	逆圧防止用バックンに変更し性能の向上を図る。	スイッチは現在と同一となります
			KR	φ32～φ125			
Tシリーズ	旧	T4		21	φ40～φ160	現在と互換性あり	
	現在	T	T TR	21	φ40～φ250 φ40～φ 80	逆圧防止用バックンに変更し性能の向上を図る。	スイッチ付仕様登場
Cシリーズ	旧形式	C6		14	SA取付φ32～φ 80	スイッチ付仕様は現状と互換性有。 但し、スイッチなしは圧力が16MPaに変更のためバックンの互換性はありません。 バックンセットのご要望は旧形式でお願い致します。	
		C6R			LD取付φ32～φ 63		
		C7R			SA取付φ32～φ 80		
		C8R			LD取付φ32～φ 63		
		C	CR	10	SA取付φ32～φ100		JIS規格品として製作
					SA取付φ32～φ 80		
	現在	C	CT	CS CR	21 16 14 10	SA取付φ40～φ 63	
						SA取付φ32～φ160	14MPaを16MPaに圧力アップ
						SA取付φ32～φ 80	
						LD取付φ32～φ 63	
CHR		10	SA取付φ32～φ100	Cシリーズ名を整理のため、C8Rのシリーズ名変更のみ。			

※Fシリーズ、Kシリーズの**Rの表示はスイッチ付仕様となります。 ※取付形式は各シリーズともに現行と相違ありません。